

テッククリート TBR

コンクリート用溶解型弾性補修材

目地材不要・・・柔軟性のある補修材
LCCコスト縮減・・・深さ5cmで施工可能
施工短縮・・・養生時間が約1時間

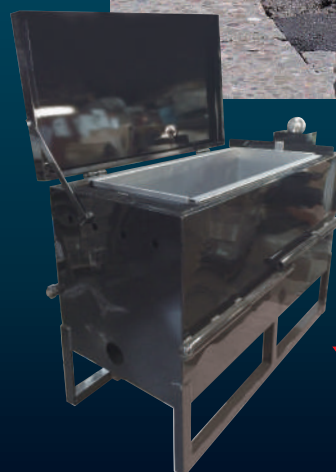


テッククリートは一般道路・高速道路・空港におけるコンクリート舗装に最も高度なフレキシブル補修材料として使用いただけます。
柔軟性、接着性、および耐衝撃性を持続的に提供します。

■ テッククリート性能一覧表

試 験	テッククリートTBR	規 格
色	灰色	
形状	粉末	
比重	2.03	ASTM D2726
バインダー内容%	15-25%	ASTM D6307
骨材通過率15.8mm (ASTM D5444) %	100%以上	ASTM D5444
No.16残留率 %	55%以上	
No.4ふるい通過率 %	-	
流動性 5時間 @60℃	5 mm以下	ASTM D5329
接着引張性	12psi(83kPa)以上圧力をかける 12mm以上伸びる	ASTM D5329
耐衝撃性 (直径50mm/厚み25mm試験体、 φ16 半球型衝撃タール)	-7℃時、高さ1.8mより0.45kgの半型 (16φ)を垂直に(8.1N・m)落下時、 ひび割れ・欠け・分離なしとする。	ASTM D2794
折り曲げ性	ひび割れ、骨材接着力の剥離見られないものとする。	ASTM D3111
最小施工温度	190℃	
最大加熱温度	204℃	
保管寿命	2年	

施工後10年経過写真



ミニメルター30

テッククリートに対応した溶解釜

ミニメルター 30 レンタル
及び施行サポート致します。

■ 施工条件

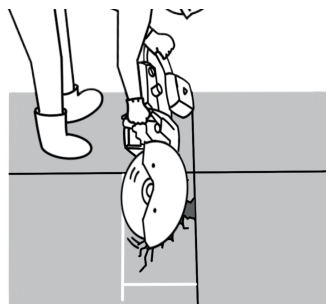
項 目	テッククリートTBR
幅	50mm以上500mm以下
深さ	50mm以上200mm以下 (必ず重ね塗りしてください。50mmの場合は2度塗りです。)
【材料品質】 テッククリートの溶解時間は6時間を超えないでください	
【施工内容】 107℃に冷えたら骨材を塗布	

■ テッククリート施工手順



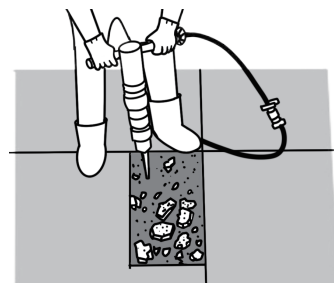
1. 着工前

目地部角欠けひび割れ部分を目視と打音検査により補修範囲を決める。



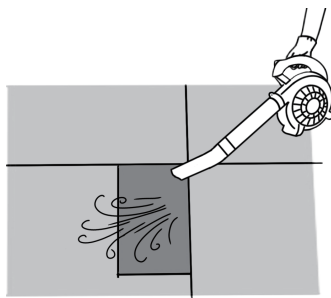
2. カッター工

ドライカッターで切断



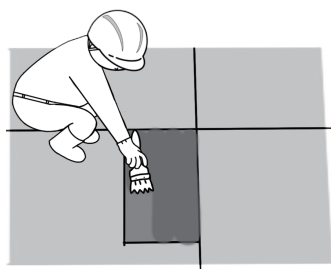
3. ハツリエ

TBR は深さ5cm 以上必要



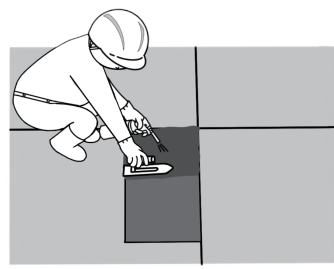
4. 清掃工

コンクリートガラを取り、ブロワーでしっかり細粒を飛ばします。補修面が濡れている場合はしっかりと乾燥させてください。おすすめは熱風ランスを使用してください



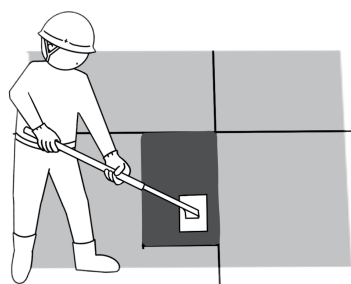
5. プライマー塗布

端部に養生テープを貼ってください。しっかりと施工面にプライマーを塗布する。(塗布量0.36kg/m²) 養生時間は1時間程度(指で触ってつかないこと)



6. 材料投入

材料溶解温度 190℃～204℃の間(材料がしゃばしゃばの状態)になれば材料を充填します 充填後コデで均す。おすすめは熱コデを使用してください



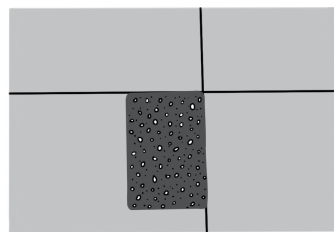
7. 成形

表面に気泡ができるため、熱したタンパーで出なくなるまで何度も潰してください



8. 骨材散布

(表面温度が107℃以下になった際、骨材を撒いてください)



9. 完了

表面温度が40℃以下になれば交通開放ができます。(なかなか温度が下がらない場合、散水を行ってください。)



エムケービルド株式会社

本 社

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-1-522-103
TEL.078-857-2123 FAX.078-857-2221

関東支店・関東工場

〒344-0051 埼玉県春日部市内牧2460-14
TEL.048-708-0717 FAX.048-611-9493

三田テクニカルセンター

〒669-1401 兵庫県三田市小柿2523-1
TEL.079-569-0200 FAX.079-569-0201